

KOTOBA

N O

U M I

ことばのうみ

宮城県図書館だより

MIYAGI PREFECTURAL LIBRARY No.

12

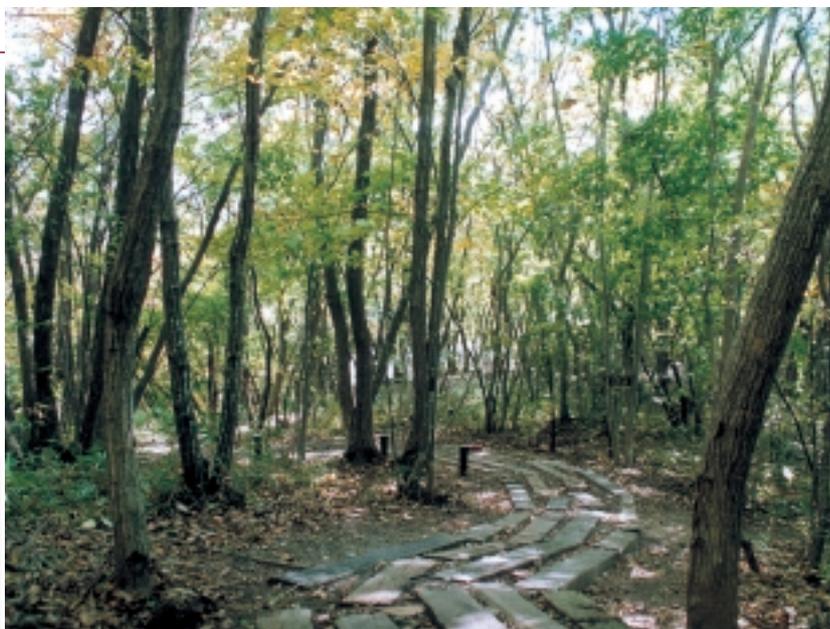
2002. 11

さまざまのあはれをこめて
梢こずえふく風に秋知るみ山辺の里

西行

紫山の樹木は、厳しい冬に備え装いを改めつつあります。これからの太陽の光は樹木の下に生きるすべてのものに限りなく命の息吹を与えます。柔らかい冬の陽ざしを受けて紫山を散策するのもまた素晴らしいものです。

(宮城県図書館 遊歩道)



特集

新しくなりました♪

宮城県図書館

『音と映像のフロア』

本の検索

瀬名秀明

インターネットによる図書館の蔵書検索が簡単にできる時代になり、とても重宝している。おかげで見知らぬ本に出会う機会が格段に増えた。開架書架だけでなく、閉架に収められた本や雑誌も含めて、図書館全体が動いているのだと実感する。

キーワードから探し出した本を開架から取り出してもらおうとき、私はいつもどきどきする。自分の希望に応えてくれる資料だろうか、それともまるで見当違いのものだろうか。カウンターでそれらの本と初めて対面するとき、私は驚き、心の中で快哉を叫び、ときにはおやっと不思議に思う。だが机に戻り、それらの表紙を眺め、ページを捲ってゆくうちに、目的としていなかった本にも愛着が湧いてくる。まったく自分の知らなかった古い叢書や版を、そうやって発見することもある。

本との出会いに困ったとき、人が最後の拠り所とするのは図書館である。だが最初出会いを発見するのも、また図書館なのである。

(せな・ひであき 作家)